

令和 3 年度 神崎保育園 事業報告

<総括>

新型コロナウイルス感染症が終息する兆しが見えないまま令和 3 年度が始まり、緊急事態宣言発令や感染拡大蔓延防止等の措置が適応される中、地域や社会に開かれた教育・保育施設としての役割を果たすため、感染予防対策を講じながらできる限り行事を実施するなど工夫を凝らし、教育・保育サービスの充実を図りました。

「生きる力を育てる」ため、日々の教育・保育を通して園児の健康維持及び基本的習慣の確立を図ると共に、園内でのお泊り保育や近隣中学校のグラウンドを借りての運動会を実施しました。また散歩や公園に出掛けたり、畑での菜園活動も行ったり、自然との触れ合いを通して体を動かす事の楽しさや食の営みの大切さを伝えてきました。生活発表会は無観客で実施したため、動画配信を試みたことにより、保護者のニーズに添い、喜びに繋がったように感じます。移管後のため尼崎市と連携をとりながらも、法人の方針を取り入れながら以下の事業内容を実施しました。

【内容】

	重点実施項目	実行内容	結果
地域貢献の視点より	1.子育て家庭への保育園機能の開放 2.子育て等に関する相談や援助の実施 3.子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進 4.地域の子育て支援に関する情報の提供 5.老人との触れ合いを通じて地域社会の伝承と老人の孤立の防止	1.毎週 1 回の園庭(遊戯室)開放の実施 2.随時相談実施。園庭開放にも受付 3.毎週 1 回の園庭開放、子育て教室(毎月 1 回、4.3 月除く計 10 回) 4.掲示板・園だより・よいこネットによる、子育て情報の掲示 5.地域の施設を訪問し、触れ合い遊びや歌などの披露を行い、世代間交流を図る	1.新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった 2.新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった 3.新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった 4.掲示板(12 回)・園だより(12 回)よいこネット(32 回)にて地域の方へ向けて、情報や知らせを発信した 5.新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった
利用者の視点より	1. 保育内容 ①保育所保育指針に基づく保育の計画と評価の実施 ②小学校へ繋げる保育 ③障害児保育の実施 ④伝統行事や文化行事を通じた人間としての基本的な型と生きる力を身体で覚える「心と身体の教育」の実施	①教務部を中心に、保育の計画に基づく保育の実施。保育要録の作成 ②音声文化から文字文化への移行を図る ③巡回相談の活用や関係機関との連携を図り、障害の早期発見と早期対応に努める ④七夕会・お泊り保育・運動会・施設訪問・七草粥・豆まき等の実施	①教育・保育要領を作成して実施。 5 歳児 16 名の子どもを育てるための資料(要録)を就学する各小学校へ送付した ②就学を見越した 1 年間のカリキュラムを作成し、小学校へ繋げた ③3 名受け入れた 5 歳児：すみれ組 1 名 4 歳児：さくら組 2 名 その他、配慮を要する子や気になる子(3 名)の記録をとり、教育・保育計画、実践に生かした ④お泊り保育・運動会では体力づくりの増進と目的を持って取り組み、やり遂げる強い意志を培った 七草粥・豆まきなど日本古来の伝統文化を体験し、その風習や習わしを知ることが出来た。 施設訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利 用 者 の 視 点 よ り	⑤子どもと保護者のふれあいを図る行事の実施	⑤保育参加の実施	⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった
	⑥保護者への保育内容周知	⑥入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配付・ホームページ・よいこネットによる情報提示	⑥入園のしおりについては全員 96名(73世帯)に配付した 園・クラスだより年間12回、保健だより年間2回発刊
	⑦保育士の加配	⑦4月当初で障害児加配2名配置	⑦4月当初で2名配置した
	⑧虐待児童の早期発見と対応	⑧毎日の視診、長期欠席児の理由確認と市への報告、保健センター等、専門機関との連携	⑧・毎日の視診、触診を通して確認した ・長期欠席者には電話連絡にて保護者に病状を確認した ・気になる家庭や発達に遅れが見受けられる子どもに対して、尼崎市こども相談支援課から、聞き取りの電話があった ・見守りを実施したが、虐待の兆候はなかった
	⑨保育環境の充実	⑨保育の充実を図るための保育備品や保育教材の購入(絵本・玩具など)	⑨保育に必要な絵本や玩具を購入した ・月刊絵本 30.240円 ・その他絵本 23.710円 ・玩具、保育教材等 300.000円
	2.健康および安全		
	①食育の促進	① 栄養士によるクッキング活動や食育に関する話	①栄養士・調理師が各クラスを回って食育活動や、クッキングを実施した (5月)生米と炊いた米の違いを見る (7月)ピザ作り(8月)カレー作り (12月)ケーキトッピング、餅つき (1月)七草粥(七草を洗う、切る) (2月)巻きずし(3月)おにぎり作り
	②子どもの健康把握と健康増進を図る	②予防接種・既往症歴の把握と身体測定、内科健診、歯科健診、歯磨き指導、散歩の実施	②保育基礎資料にて確認を行い、健診に関しては全て実施した ・身体測定(12回) ・内科健診(2回) ・耳鼻科健診(1回) ・歯科健診(1回)/歯磨き指導(1回) ・眼科健診(1回) 園庭が無いため、園全体で(111回)散歩や公園での活動を実施した 新型コロナウイルス感染症拡大防止として、公園で遊具を使用する際は消毒をしてから使用した
	③各種避難訓練の実施	③通常の園独自の訓練に加え、警察や消防、救急と連携した防災訓練や救命救急講習の実施	③毎月実施した(但し、月により内容は異なる) ・不審者訓練(年2回) ・消防と連携した総合避難訓練(年2回) ・救命救急講習(年1回)実施した
	④環境整備と衛生管理の徹底	④清掃・設備点検などの実施 整理整頓・清掃、手洗い・消毒(担当を決め、毎日実施)の徹底	④管理場所ごとに責任者を置き、毎日清掃および安全点検を行った 消防設備点検(年2回) エレベーター点検(年4回)実施

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点より	⑤安全指導と不測の事態の対応	⑤各種危機管理マニュアルの随時見直しと修正を行い、充足を図る ・事故防止 ・事故発生時の対応マニュアル ・投棄マニュアル ・不審者対応マニュアル ・感染症・食中毒マニュアル ・自然災害対応マニュアル ・防災マニュアル	⑤各種マニュアルの様式・内容の見直しや修正をして作成した ・防災マニュアルの備蓄品リスト ・非常持ち出し品リストの修正 ・緊急時引き渡しカードの様式変更 ・不審者対応マニュアルに園外保育時のマニュアルを追加した ・アレルギー対応マニュアルを再度周知した
	⑥新型コロナウイルス感染症対策の徹底	⑥・検温及び手指消毒(登園時毎日) ・施設内の消毒・換気(毎日) ・マスクの着用(職員・保護者・3~5歳児) ・密を避けることを徹底 ・空気清浄機の使用	⑥・検温器(1台)79,200円購入 玄関に設置した ・オゾン発生装置(2台)400,000円購入 0、1歳児保育室に設置した その他、各所に消毒を常備した
	3.保護者支援		
	①園と家庭の相互連絡の充実	①連絡帳の利用、園だより、クラスだより、よいこネットメール、ホームページによる情報提示、子どもの送迎時の対応、苦情相談の受付など	①全て実施した ・連絡帳(毎日) ・園だより・クラスだより(毎月1回・全12回) ・よいこネット(32回) ・子ども送迎時の対応(随時、口頭・電話等で実施した) ・苦情相談の受付(5件)口頭で回答、ホームページで報告した)
	②低年齢児保育の積極的な実施	②弾力化による最大限に広げた0、1歳児の積極的な受け入れ	②市からの依頼を受け、受け入れた 0歳児：9名 1歳児：15名
	③働く両親の就労援助	③延長保育の実施 保育短時間 7:00~8:30/16:30~19:00 標準時間 7:00~7:30/18:30~19:00	③延長保育利用児：延べ1465名 一時保育利用児：延べ103名
	④安全で安心な遊び場の提供	④施設設備の管理・点検(設備点検表を作り毎日・毎月のチェックをする)	④管理場所毎に責任者を置き、毎日清掃および安全点検を行った 消防設備点検(年2回) エレベーター点検(年4回)実施
	⑤保育サービスの全体的な質の向上を図る	⑤職員の研修の実施(教務部で研修計画を作り、実施)	⑤園内外の研修を本務に支障のない限り受けた(延べ人数81人)
	4.苦情解決		
	①苦情への適切な対応をはかり、利用者の満足感を高める	①投書箱の設置、連絡帳、口頭、電話等による苦情の受付「要望・意見・苦情・相談・」発生・解決報告書への記入	①実施した 「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入(5件、主任保育士が記入した)
②利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする	②苦情解決責任者、苦情解決担当者第三者委員等の担当者の設置、システム図式、公表	②玄関に設置した	
③苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、信頼と適性をはかる	③年度末に1年間に発生した苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表	③実施した「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入(5件)	

	重点実施項目	実行計画	実施結果
利用者の視点より	<p>5.保幼小連携</p> <p>①子ども同士の交流を図る</p> <p>②教職員の交流、情報交換を図る</p> <p>③地域としての取組み</p>	<p>①条件が整えば、行事や日常保育での交流</p> <p>②条件が整えば、打合せ、保育参観授業参観、合同研修会などの実施</p> <p>③保幼小が参加した連絡会への参加</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しなかった</p> <p>②新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で実施しなかった</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から連絡会としては実施されず、小学校より各園への訪問や電話にて園児についての聞き取りを受けた</p>
財務の視点より	<p>1.園舎内外の不具合部分の修繕</p> <p>2.計画的な保育備品購入</p> <p>3.施設設備強化</p> <p>4.経費削減対策</p> <p>5.財務諸表と労務管理を通じた経営状態の把握</p> <p>6.新型コロナ感染症対策</p>	<p>1.毎月と年度末に修繕箇所の調査</p> <p>2.①絵本・玩具の購入 ②遊具・楽器の充足</p> <p>3.①園庭整備 ②災害備蓄品の充足(防災セット・非常食等)</p> <p>4.コピー・水道・電気等の節約に取り組む</p> <p>5.労務管理事務所、経営コンサルタントと契約し、専門家の指導を受ける</p> <p>6.空気清浄機、自動検温器の購入</p>	<p>1.実施した</p> <p>2.①月刊絵本・玩具を購入した ②園庭の総合遊具をジャクエツから購入・設置 5,830,000 円</p> <p>3.①園庭整備 林建設 44,627,000 円 造園工事 藤原園 3,630,000 円 ②災害備蓄品 163,562 円</p> <p>4.経費節減に努めた</p> <p>5.労務管理に関してはゆびすい近藤氏、会計管理に関してはゆびすい神田氏、その他財務諸表等については MAN90 砂田氏から指導を受けた</p> <p>6.オゾン発生装置 2 台 400,000 円、自動検温器 1 台 79,200 円(コロナ対策の補助金利用)</p>
業務プロセスの視点より	<p>1.業務改善取組の構築</p> <p>2.危機管理マニュアルの点検と随時修正</p> <p>3.PC 管理の確立</p> <p>4.各部計画の点検と随時修正</p> <p>5.事務の省力化</p>	<p>1.①各部・各係の PDCA の作成と更なる深化 ②園務分掌の検討</p> <p>2. 各種危機管理マニュアルの随時見直しと修正を行い、充足を図る ・事故防止 ・事故発生時の対応マニュアル ・投薬マニュアル ・不審者対策マニュアル ・感染症・食中毒マニュアル ・自然災害対応マニュアル</p> <p>3.個人情報管理の徹底</p> <p>4.研修計画・防災避難訓練計画・食育計画・保健計画・安全計画・プール指導計画の見直し</p> <p>5.給与管理システムと勤怠管理システムの導入</p>	<p>1.①各部マニュアルと PDCA を見直し、作成した ②令和 3 年度に係る園務分掌表を作成した</p> <p>2. 各種マニュアルの様式・内容の見直しや修正をして作成した ・防災マニュアルの備蓄品リスト ・非常持ち出し品リストの修正 ・緊急時引き渡しカードの様式変更 ・不審者対応マニュアルに園外保育時のマニュアルを追加した ・アレルギー対応マニュアルを再度周知した</p> <p>3.データへのパスワードを設定し、パスワード付の共有ホルダの作成をし、書類は鍵付きの棚へ保管した</p> <p>4.・次年度に向けて研修計画は実績に基づき、研修回数を増加した ・防災避難訓練計画は職員の少ない時間帯の想定を追加した ・プール指導計画は設置場所を追加した</p> <p>5.・勤次郎のシステムを導入し、静脈認証による勤怠管理を実施した</p>

	重点実施項目	実行計画	実施結果
人材育成の視点より	<p>1.離職防止対策を図る</p> <p>2.職員の資質向上を図る</p> <p>3.園内研修の充実</p> <p>4.人材の確保を図る</p> <p>5.職務内容に応じた給与システムの検討</p> <p>6.職員の処遇改善</p>	<p>1.様々な勤怠形態を考慮した働きやすい職場づくり</p> <p>2.分掌、各自の課題に即した研修(キャリアアップ研修含む)の設定および積極的な参加</p> <p>3.専門の講師の研修(接遇研修・普通救命講習Ⅲ)を受ける</p> <p>4.人材紹介会社を利用することのない、積極的な就職フェアの参加やハローワークでの求人、養成校へ求人票の送付などを実施</p> <p>5.職能等級規定による人事考課の実施</p> <p>6.園および市の基準に基づき、処遇改善手当の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バースデー休暇 ・リフレッシュ休暇の取得を図る 	<p>1.こまめに面談をし、働きやすい職場づくりを実施した</p> <p>2.園内外の研修を本務に支障のない限り受けさせた(延べ人数 81名)</p> <p>3.専門家の指導を受け、研修する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年2月26日法人合同接遇マナー研修を神崎保育園で行い、新任6名が参加した ・R3年6月救命救急研修を実施 <p>4.・ハローワーク2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材紹介4名採用した <p>※来年度は、費用を最小限に抑えて人材を確保する</p> <p>5.実施した(8月、11月、2月)(計3回)</p> <p>6.処遇改善ⅠとⅡ、処遇改善臨時手当を支給した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バースデー休暇(1日) ・リフレッシュ休暇(2日)を導入し対象者は全員取得した